

さわやかハイキング山行報告書

通算山行NO	NO. 1463	報告者	小松眞明
年月日	2011年8月4日(木)～7日(日)	2万5千	
山名	南ア・白根三山(北岳～間ノ岳～農鳥岳)		
体力度=4・やや厳しい      技術度=3・普通      道標=ある      駐車場=ある      トイレ=小屋 展望度=よい      三角点=北岳・間ノ岳・農鳥岳			
<b>白根三山の縦走を満喫</b>			
コースとタイム	3日目=起床4:00-朝食-北岳山荘5:40発-中白根山6:05-間ノ岳7:05-農鳥小屋8:20-西農鳥岳9:15-農鳥岳10:00-大門沢下降点11:15-大門沢小屋着14:30		
標高差	上り 北岳山荘約2890m～間ノ岳3189m=約299m 農鳥小屋約2800m～西農鳥岳3051m=約251m 下り 農鳥岳3026m～大門沢小屋約1715m=約1311m		
参加者	CL後藤隆徳、ビデオ・伊藤従人、会計・河野光江、峰田光江、SL村山忠彦、会計・石和加代子・小松眞明=7名		

3日目(8月6日・土) 晴のち雨

4時起床、朝食前の出発準備をしながら山荘2階の窓より期待を込めて外を覗くと昨夜の天気予報(曇りのち雷雨)が外れ、東の方向に雲海に浮かぶ富士山と赤く染まり始めていた山間より日の出を迎えた、このところ数日も同じような天候で朝は晴れてのちに崩れて雨になるようだ。



隣のグループでは登山靴を紛失したため捜索に大騒ぎをしていて出発できずにいた。

5時に朝食を済ませ、5時40分に昨日の疲労と弁当をザックに入れて北岳山荘より中白根山～間ノ岳～農鳥小屋～西農鳥岳～農鳥岳～大門沢小屋までの縦走に出発。

中白根山からは花畑エリアとなり多くの高山植物の鑑賞と天然記念物の雷鳥の親子にも遭遇することができ楽しめました。

間ノ岳山頂では天候も良く南アルプスの360° パノラマの最高のロケーションを満喫。富士山の頂上からは火山噴火と思わせるように見える雲が浮かんでいた北岳・富士山・・を写真に収め、農鳥小屋に向け下る。



間ノ岳三角点



間ノ岳頂上

名物オジサンに出迎えられ農鳥小屋に到着。オジサンと山の心得などの雑談。又、8月4日（木）にお世話になった民宿「えびすや」の大きな看板が有り聞くと偶然にもオジサンは民宿「えびすや」と知り合とのことでした。



西農鳥岳に登り始めるころよりガスが農鳥岳の山頂を覆い出しているため先を急ぐ西農鳥から農鳥岳は時々ガスと霧雨の中を少し景色は残念でした。

今回最後の3,000mの縦走をひと踏ん張り楽しみ農鳥岳山頂にてランチ休憩。北岳山荘の酢飯お弁当にパクつきエネルギーを充填。農鳥岳の山頂からの下りではすれ違う登山者がめっきり減って天候も後を追うように崩れだしている。雪山の遭難者の鐘のある地点が大門沢の下降点から大門沢小屋に向け一気に下る大門沢小屋に着くころには霧雨と湿気よる汗の滴りと足が悲鳴を上げていた。



農鳥岳頂上



大門沢小屋に到着、受付後すぐに天候は激しい雷雨となり登山道は川に変わって後から到着した登山者はずぶ濡れの状態で山小屋に入って着ました。

山小屋は3時まで電灯が点灯しない一階の大部屋は湿気が多く薄暗い酷い状況でした。後藤リーダーの機転により2階の個室に一人プラス千円でグレードアップすることで千円以上の快適な山小屋の一夜を過ごすことができました。



大門沢下降点





